

講義名称	子どもと人間関係	担当教員名	成田 小百合
科目群			
科目区分等		単 位	1
対象学年次		ナンバリング	

授業のキーワード	幼児期 関係発達論 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
授業の概要	領域「人間関係」指導の基礎理論として、関係発達論的視点について学び、他者との関係性や集団との関係の中で、幼児期の人と関わる力が育つこと学ぶ。幼児期のおわりまでに育ってほしい姿に関連させる。
期待される学習成果（目標）	(1) 幼児をとりまく人間関係をめぐる現代的課題を理解する。 (2) 幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から説明できる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	領域「人間関係」とは何か
2	現代社会と幼児期の人間関係 (1)	幼児期を取り巻く人間関係の現代的特徴
3	現代社会と幼児期の人間関係	家庭・地域と幼児教育が期待すること
4	人間関係を捉える理論 (1)	関係発達論の考え方
5	人間関係を捉える理論 (2)	生態学的理論の考え方
6	3歳児の人間関係 (1)	保育者との信頼関係
7	3歳児の人間関係 (2)	友だちへの関心
8	3歳児の人間関係 (3)	友だちとの葛藤と保育者
9	4歳児の人間関係 (1)	依存と自立の揺れの中での人間関係
10	4歳児の人間関係 (2)	イメージの共有と人間関係
11	4歳児の人間関係 (3)	自己主張と自己制御の揺らぎ
12	5歳児の人間関係 (1)	仲間と協同して遊ぶ
13	5歳児の人間関係 (2)	共感性の育み
14	5歳児の人間関係 (3)	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と人間関係
15	まとめ	これまでの授業のふりかえり

定期試験	定期試験を実施しない。
授業時間外学習	幼稚園教育要領における「人間関係」について熟読し、授業時の課題と関連づけられるように理解してください。
評価方法	授業貢献度30% 授業時の課題レポート20% 期末レポート50%
使用する教科書（必ず購入してください）	なし
参考文献	適宜紹介する。